

東北地域の野生鳥獣による農作物被害金額は約14.6億円

東北地域の令和5年度農作物被害金額は約14.6億円で、前年度に比べ約2.9億円増加しました【図1】。鳥獣別の被害割合は、クマ23%と最も多く、次いでシカ19%、イノシシ18%、カラス12%、サル7%の順となっています【図2】。一方、作物別の被害割合は、果樹が52%と最も多く、次いで稲21%、野菜13%の順となっています【図3】。

- シカによる農作物被害金額は前年度に比べ約3,000万円減少したものの、クマは約25,500万円増加し、シカやイノシシなどの獣類全体で約24,000万円の増加となりました。
- 管内では、クマやシカ、イノシシの分布が拡大しており、野生鳥獣による農作物被害を抑えるためには、捕獲だけでなく、侵入防止柵の設置や放任果樹の除去など地域ぐるみでの総合的な対策が重要です。
- 令和5年度は東北管内においてブナ科堅果類が大凶作〜凶作でした。このため、ブナ科堅果類の代替となる食物を求めたクマが人里近くに出没し、大きな被害をもたらしたと考えられます。
- 農林水産省では「鳥獣被害防止総合対策交付金」により、農作物被害対策として鳥獣の捕獲や侵入防止柵の設置等による被害防除、放任果樹の除去等による生息環境管理などの支援を行っており、東北農政局は東北6県を通じ市町村等に対して、鳥獣交付金を活用した地域ぐるみでの被害対策の取組を推進しています。

図1 農作物被害金額の推移（東北）

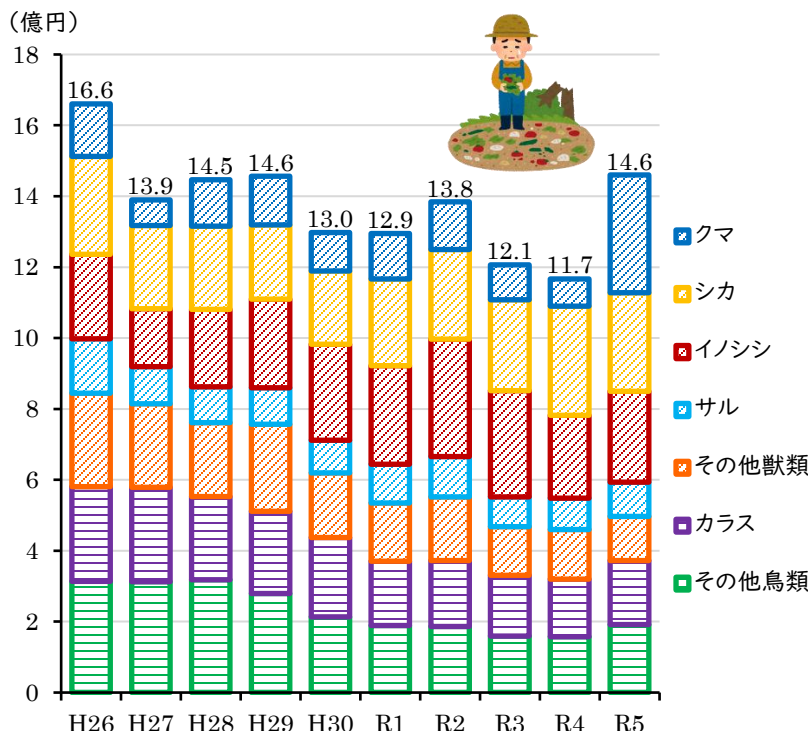


図2 鳥獣別被害金額割合

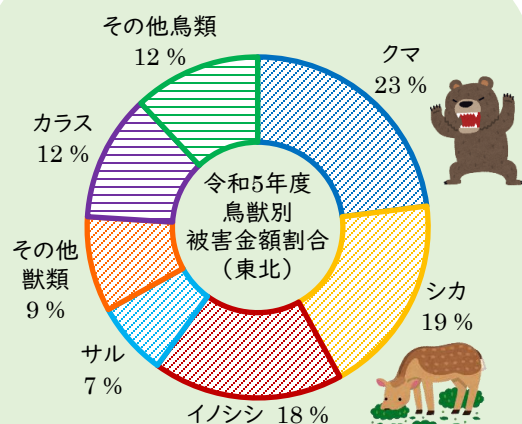
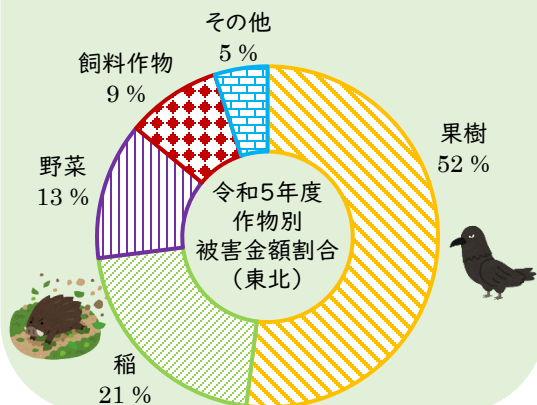


図3 作物別被害金額割合



鳥獣被害対策コーナー

野生鳥獣に対する農作物被害防止対策のための様々な情報はコチラ
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/index.html>



◇ 東北における野生鳥獣による農作物被害状況は、東北農政局ホームページをご覧ください。
 (https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/tyozyu/higai/index.html)

上記紙面の問合せ先：東北農政局 農村振興部 農村環境課 022-221-6260



Flower Valentine

～花は自由なラブレター～

農林水産省では、国民の皆さんに花をより身近に感じ、楽しんでいただくために「フラワーバレンタイン」の取組を応援しています。令和7年1月18日（土）～2月16日（日）までの期間、フラワーバレンタインイベントとして仙台市地下鉄東西線国際センター駅「青葉の風テラス」に生花、ドライフラワーの展示やフラワーバレンタインフォトスポットを設置するとともに、2月9日（日）「TeaTOHOKU FESTA」（イーとうほくフェスタ）のワークショップで環境にやさしいブーケ作りを開催し、フラワーバレンタインのPRを行います。

仙台合同庁舎B棟1階の消費者展示コーナーにおいてもフラワーバレンタインポスター展示等を行います。

・フラワーバレンタイン展示
開催期間：1月18日～2月16日
開催場所：青葉の風テラス
仙台市地下鉄東西線国際センター駅

・ワークショップ（ブーケ作り）
開催期間：2月9日 11:00～12:30
開催場所：青葉の風テラス
2F屋内イベントスペース

・東北農政局消費者展示コーナー
展示期間：2月3日～2月28日
展示場所：仙台合同庁舎B棟1階
行政情報プラザ



【問合せ先】東北農政局生産部園芸特産課 022-263-1111（内線4395）

「みどりチェック」に取り組みましょう！

令和6年度から全ての補助事業等で環境にやさしい農林漁業のための最低限の取組についてチェックシートで提出・実践していただく「みどりチェック」を要件に試行実施しています。「みどりチェック」へのご理解と取組の実践をお願いします。

申請

申請時
(します) (しました)

取組の実践

申請時
(します) (しました)

報告※令和7年度～

確認※令和7年度～

申請時
(します) (しました)



「環境負荷低減のクロスコンプライアンス（みどりチェック）」の情報は
こちらから！

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/kurokon.html>

【問合せ先】東北農政局生産部環境・技術課 022-263-1111（内線4230）

地域からの便り

各県拠点では「農山漁村の季節の風物詩」、「農産物直売所、農漁家民宿等の取組」、「村おこしイベント」、「農山漁村の行事、お祭り」、「郷土料理」など東北各地域の取組や様子などを東北農政局HPで紹介しています。



写真：（左）一粒一粒根気よく種子を貼り付けていきます
（右）色違いの大豆等で制作された、完成間近の恵比寿様

高病原性鳥インフルエンザの発生が急増しています！！

家さん飼養農場では最大限の警戒をお願いします

特に大規模農場、既発地域、養鶏密集地域は具体的な対策強化を徹底

- ◆ 鶏の様子が少しでもおかしいと感じたら家畜保健衛生所に連絡を！
- ◆ 農場周辺にウイルスが大量に存在しているので、入退場時や敷地周辺の消毒により人・車両・塵埃によるウイルス持ち込み防止を徹底！
- ◆ 防鳥ネットの設置・修繕、隙間の穴埋めなど、カラス等の野鳥、野生動物侵入防止対策を再点検！

鳥インフルエンザに関する情報はコチラ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>



「豚熱」・「アフリカ豚熱」の侵入防止！

豚熱は、東北では令和2年に山形県の農場で発生以降、宮城県と岩手県で発生しています。なお、野生イノシシの豚熱感染は、東北全県で確認されています。

近隣国では、豚熱及びアフリカ豚熱の発生が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いていますので衛生管理を徹底しましょう。

豚熱に関する情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/in dex.html>



アフリカ豚熱に関する情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf/ht ml>



野生イノシシの豚熱検査情報に関する情報はコチラ

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html



目的の二次元コードがうまく読み込めない場合は、指などで不要な二次元コードを隠した状態で読み込んでください。

「葛尾の凍み餅」を守り続けて 一福島県・葛尾村一

東北地方では、昔から冬の厳しい寒さと乾燥を利用して保存食として凍み餅を作る地域がありますが、この葛尾村でも、凍み餅は、山野草のオヤマボクチとヨモギを練り込んで作る身近な食品でした。

村内で唯一、凍み餅を製造販売している有限会社ふるさとのおふくろフーズの松本智恵子さんと松本裕子さんにお話を伺いました。

始まりは、一村一品運動が盛んだった昭和後期に、葛尾村の伝統食である凍み餅を特産品にしようと、松本さんの母親の富子（ひさこ）さんが中心となって製造販売するようになったそうです。

写真：調理した凍み餅
（手前）砂糖醤油、（奥）きな粉



全国唯一この町でしか見るこのできない、五穀豊穡を祈願する「弥生画」一青森県・鶴田町一

鶴田町では、約200年以上前から伝わる「弥生画」が制作されています。

弥生画とは、収穫された小豆や菜種などの穀類の種子20数種類を、着色などを一切行わず一粒ずつ貼り付けて制作する「絵」のことです。完成した「弥生画」は毎年年末に五穀豊穡を祈願して神社に奉納され伝統文化のひとつとなっています。

歴史を紐解くと、寛政元年（1789年）、夏中、日照りが続き、思い余った農民たちが残り少ない種子を持ち寄り、餅で作った糊で板に張り付けて雨の神様に祈願し、その種を土に植えたところ、大豊作になったことから、作られるようになったのが「弥生画」の始まりとされています。



◆ 「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局HPをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

東北農政局HP
食・農ひとくち情報

@MAFF_TOHOKU

東北農政局 公式 X
アカウントはこちら



◆ 「食・農ひとくち情報」の問合せ先

東北農政局企画調整室支援チーム022-263-1111（内線4402、4076）



@maff Tohoku

東北農政局 公式 Instagram
アカウントはこちら

